



2021年9月期 決算説明資料

- 2021年12月
- 東和ハイシステム株式会社
- 東証JASDAQ（スタンダード）
- 証券コード：4172



I 会社概要

II 2021/9期決算概要

III 2022/9期決算見通し

IV TOPICS

V Appendix

経営理念



経営は継承

売上なくして経営なし

利益なくして事業なし

人生も口づこ
経営も口づこ

無限の可能性に挑戦!

事業理念

「サポートなくして販売なし」

「お客さまの笑顔、お客さまの満足が私たちの喜び」

「顔が見え、心が触れ合う」



- ✓ 「地域密着」顔の見えるサポート
- ✓ お客様のご意見ご要望をシステムへ反映
- ✓ 親しまれ・愛され・信頼されるサポート
- ✓ お客様との末長いお付き合い
- ✓ 歯科医療に夢と未来を・・・It's Hi Dental World

It's Hi Dental World

歯科医療に夢と未来を...



※当社製品は医療機器に該当しません。 ※JP1は株式会社製作所の商標または登録商標です。 ※iPadはApple Inc.の商標です。
 ※HIRDBは株式会社製作所の登録商標です。 ※オンライン資格確認はマイナンバーカード等を用いて保険資格を確認できる国の制度です。

「電子保存の三原則」による高セキュリティの確保

世界のセキュア DB

HiRDB



真正性

生体認証指静脈



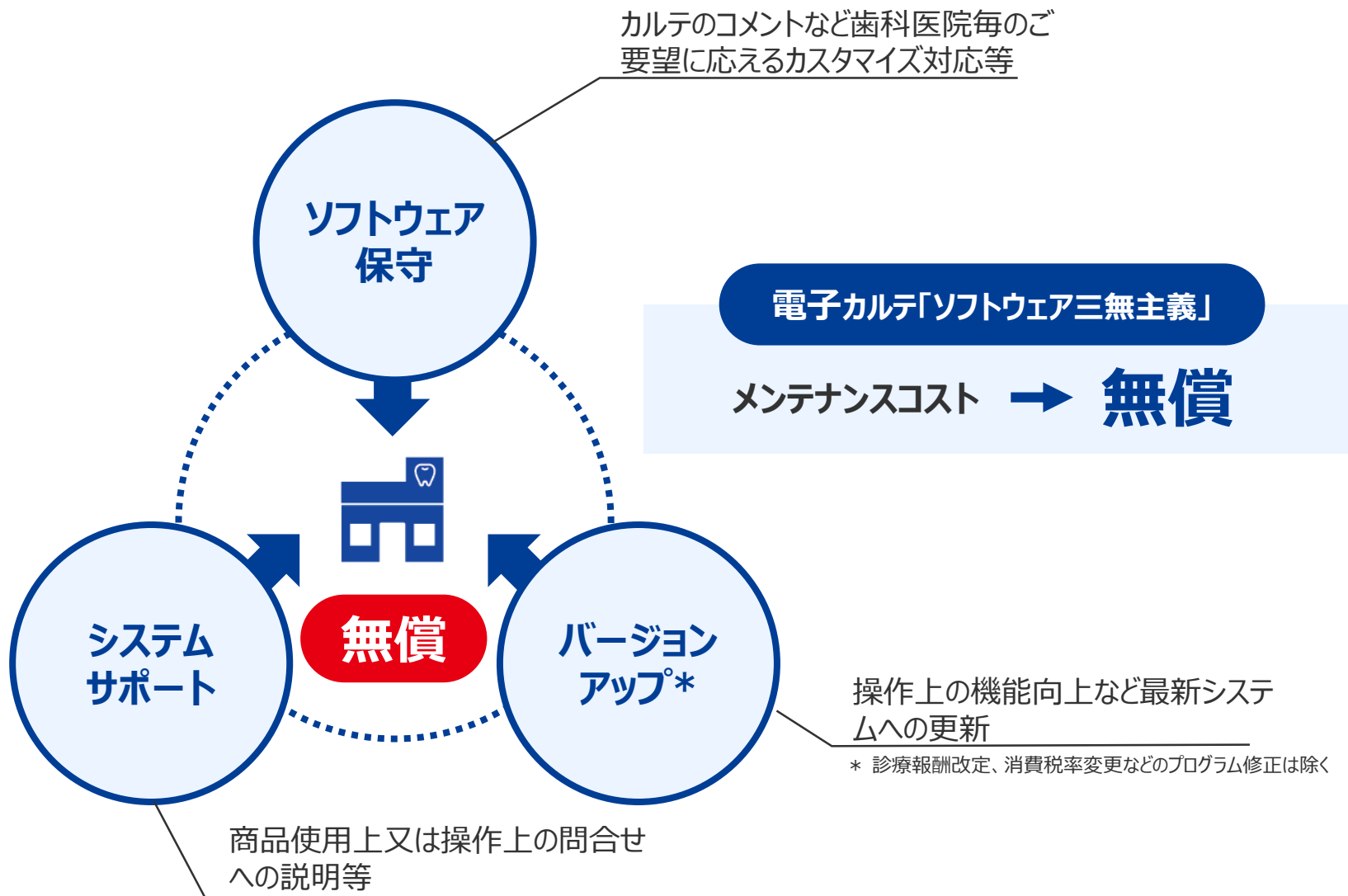
ハイセキュリティ
電子カルテ統合システム

Hi Dental Spirit[®]
XR-10i

見読性

保存性

「ソフトウェア三無主義」の提供



社 名	東和ハイシステム株式会社 [英語名：TOWA HI SYSTEM Co. Ltd.]		
代 表 者	代表取締役 石井 滋久		
設 立 年 月	1978年3月		
本 社 所 在 地	岡山市北区野田3丁目12-33		
資 本 金	3億4,308万円（2021年9月末現在）		
役 員 構 成	代表取締役 社外取締役	石井 滋久 猪木 健二	取締役(監査等委員) 高橋 睦治 社外取締役(監査等委員) 福井 五郎 社外取締役(監査等委員) 辻 啓一
事 業 内 容	オンライン診療システム（スマホ予約、スマホ診療、スマホ決済）及びiPadを活用した歯科電子カルテ統合システムの研究開発・営業・サポート		
特約店契約	株式会社日立製作所		
営 業 拠 点	本社 /岡山 中国ブロック/広島・福山・鳥取・島根・山口 関西ブロック/大阪・堺・神戸・姫路 四国ブロック/愛媛・高松・高知 九州ブロック/福岡・北九州・佐賀・長崎・熊本・大分・鹿児島・沖縄 関東ブロック/東京・横浜の23拠点		
売 上 高	2,369百万円（2021年9月期）		
従 業 員 数	143名（2021年9月末現在）		
総 資 産	4,018百万円（2021年9月末現在）		

会社沿革

1978年	3月	東和レジスター岡山販売株式会社(現当社)を設立
1980年	5月	東和レジスター中国販売株式会社に商号変更
1984年	2月	岡山県岡山市今二丁目に本社を新築移転
1987年	8月	東和ハイシステム株式会社へ商号変更
1992年	3月	株式会社日立製作所特約店となる
1995年	8月	姫路営業所を開設
1996年	12月	神戸営業所を開設
1997年	2月	福岡営業所を開設(現 福岡支店)
1999年	10月	広島営業所を開設
2000年	3月	愛媛営業所を開設 米子出張所を開設(現 鳥取営業所)
2000年	7月	松江出張所を開設(現 島根営業所)
2001年	6月	岡山県岡山市今二丁目に本社新社屋を建設
2002年	11月	大阪営業所を開設(現 大阪支店)
2004年	10月	高松営業所を開設
2004年	11月	熊本営業所を開設
2005年	3月	北九州営業所(小倉)を開設
2005年	5月	長崎営業所を開設
2006年	10月	鹿児島営業所を開設
2006年	5月	福山営業所、大分営業所を開設
2006年	9月	山口営業所(周南市)を開設
2006年	11月	岡山県岡山市野田三丁目に本社を新築移転
2010年	10月	高知営業所を開設
2016年	8月	東京支社を開設
2017年	7月	岡山県岡山市今二丁目に研修・宿泊施設であるセミナーハウスを開設
2018年	1月	岡山県岡山市野田三丁目に本館別館を取得
2018年	3月	佐賀営業所を開設
2018年	7月	堺営業所を開設
2018年	12月	横浜営業所を開設
2020年	12月	東証JASDAQ(スタンダード)上場

製品沿革

1982年	1月	外食産業向け「OFF LINE POS SYSTEM」の販売管理ソフトの販売開始
1984年	4月	接骨院向けレセプトシステム「師範代」の販売開始
1986年	6月	歯科医院向けレセプトシステム「Hi Dental System」販売開始
1996年	4月	歯科医院向けレセプトシステムのWindows版「Hi Dental for Windows」販売開始
1999年	6月	歯科医院向け電子カルテシステム「Dental Spirit」販売開始
2002年	6月	歯科医院向け電子カルテシステム(院内LANシステム)「Dental Spirit Z21」販売開始
2007年	1月	ハイセキュリティ統合電子カルテシステム「Hi Dental Spirit」販売開始
2009年	10月	電子レセプト請求ソフト搭載「Hi Dental Spirit XR」販売開始
2010年	10月	iPad歯周・視診検査アプリ「i-DS検査」販売開始
2012年	8月	業界初、iPad問診アプリ「i-DS問診」販売開始
2012年	12月	CTI (電話受付システム)販売開始
2013年	3月	電子カルテシステムを院内、院外から操作可能「リモートくん」販売開始
2013年	9月	介護保険請求連携ソフト「介護DS」販売開始
2013年	10月	ハイセキュリティ統合電子カルテシステム「Hi Dental Spirit XR-Vi」販売開始
2013年	12月	予約メール配信システム「お知らせくん」販売開始
2015年	1月	iPad自費見積アプリ「i-DS自費プランナー」販売開始
2015年	8月	iPad画像アプリ「i-DSビジュアルPro」販売開始 iPad院内情報共有アプリ「i-DSアシスタントPro」販売開始
2015年	11月	ホスト切り替えソフト「きりかえくん」販売開始
2016年	6月	「Hi Dental シリーズ」累計販売 8,000システム突破
2016年	8月	ハイセキュリティ統合電子カルテシステム「Hi Dental Spirit XR-10i」販売開始
2017年	2月	iPad予約アプリ「i-DS予約」販売開始
2017年	3月	医院経営分析ソフト「分析くんMap」販売開始
2018年	1月	ネット予約システム「ネット予約DS」販売開始
2018年	8月	iPadでカルテ入力「バーチャルカルテ」販売開始
2020年	2月	「Hi-Payキャッシュ」「Hi-payキャッシュレス」「Hi-Payスマート」販売開始
2020年	6月	医院経営分析ソフト「DoctorアシストPro」販売開始
2020年	10月	「オンライン資格確認パック」販売開始
2021年	1月	クラウド・スマホ予約「ClinicSmileコネク」販売開始
2021年	11月	クラウドシステムとSNS (Line) の連携サービスを開始
2021年	12月	日立製作所の統合システム運用管理ソフト「JP1」の運用開始

■ 2021/9期決算

- ・売上、利益ともに過去最高更新。「オンライン資格確認等システム」が大きく伸長

■ 2022/9期決算見通し

- ・増収増益継続も、前期大きく伸長した「オンライン資格確認等システム」急増の反動から成長ピッチは一旦減速。打って変わって既存製品群が収益を支える

■ 今後の主な取り組み

- ・日立JP1（統合システム運用管理ソフト）を活用し、弊社の歯科電子カルテ統合システムのバックアップ・リモート配信を2021年12月から試験運用を開始し、新春には本格運用しきめ細やかなサポートをより進化させる
- ・「Hi Dental Spirit XR-10i」と時代の最先端を取り入れたスマホを活用したオンライン診療システム、スマホ予約からスマホ診療、スマホ決済までを結合させた「Hi Dental クラウド統合システム」の開発



2021/9期決算概要

決算概要

(百万円) 百万円以下切り捨て、 %は小数点1位以下四捨五入	2019/9期	2020/9期	2021/9期			前年比	
			修正後予想① (2021/4/28)	修正後予想② (2021/8/30)	実績	増減額	増減率
売上高	1,906	1,910	2,294	2,355	2,369	+459	+24.1%
売上総利益	1,459	1,499	—	—	1,783	+283	+18.9%
粗利率	76.5%	78.5%	—	—	75.3%	▲3.2pp	—
営業利益	381	384	547	585	601	+217	+56.5%
営業利益率	20.0%	20.1%	23.8%	24.8%	25.4%	+5.3pp	—
経常利益	386	398	515	556	571	+173	+43.5%
当期純利益	237	245	330	385	375	+130	+53.1%

- 前期比2ケタ増収増益。
- 主力商品「Hi Dental Spirit XR10-i」の売上はCOVID-19による閉院・廃院増により横ばいとなる中、2021年10月本格運用開始を前にした「オンライン資格確認等システム」の販売が貢献
- 粗利率は75%超と高水準を維持。営業利益率もさらに向上し、25%超を達成

四半期別決算概要

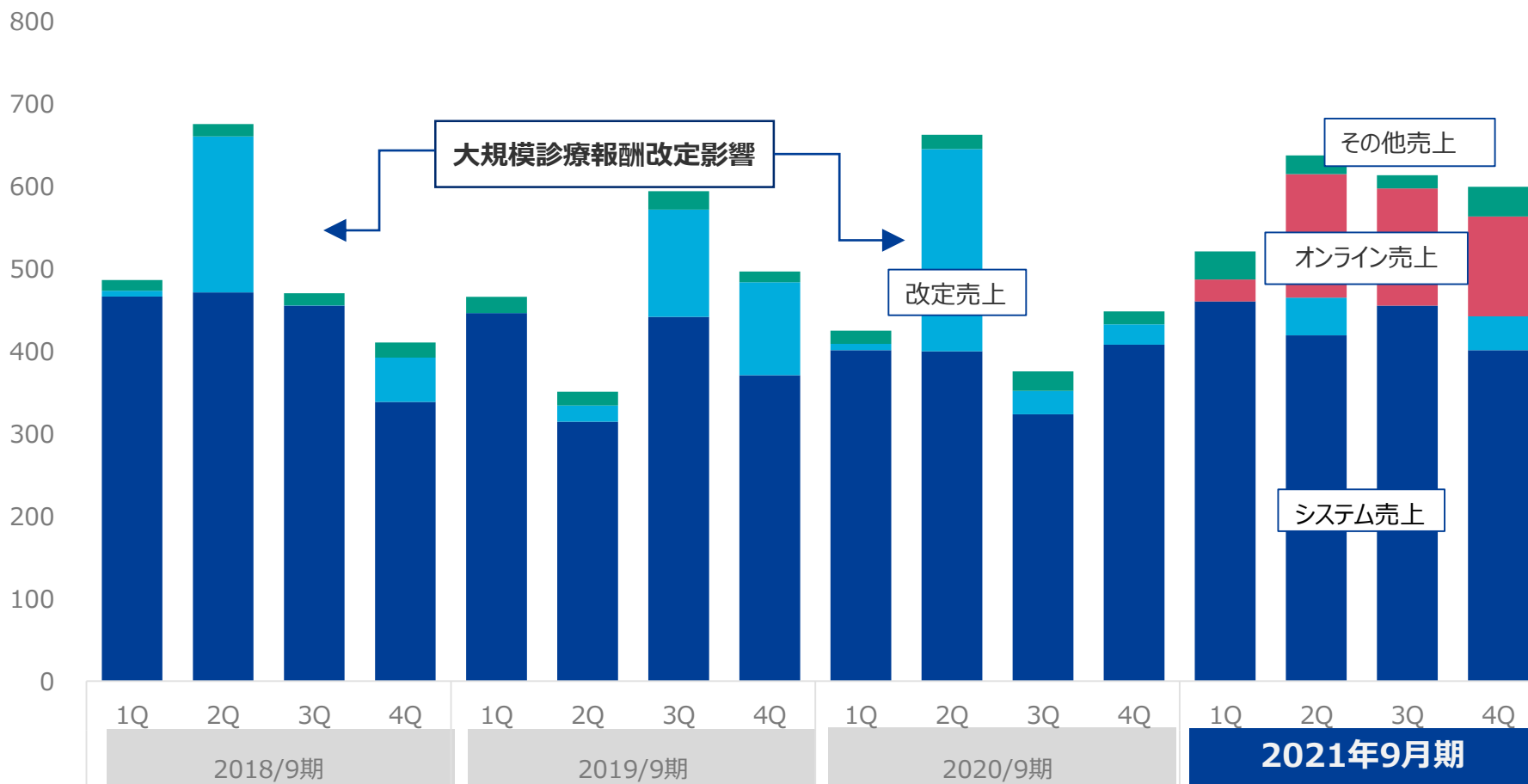
(百万円)	2020/9期				2021/9期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	425	662	375	448	520	636	612	599
売上総利益	—	—	—	348	398	488	457	439
粗利率				77.7%	76.5%	76.7%	74.7%	73.3%
営業利益	42	271	50	21	130	201	133	136
営業利益率	9.9%	40.9%	13.3%	4.8%	25.0%	31.6%	21.7%	22.8%
経常利益	—	—	—	23	95	202	133	139
当期純利益	—	—	—	5	64	138	85	87

電子部品の調達タイト化に対応して戦略的な在庫積増しにより粗利率は低下

四半期売上高の推移

四半期別売上内訳の推移

(百万円)

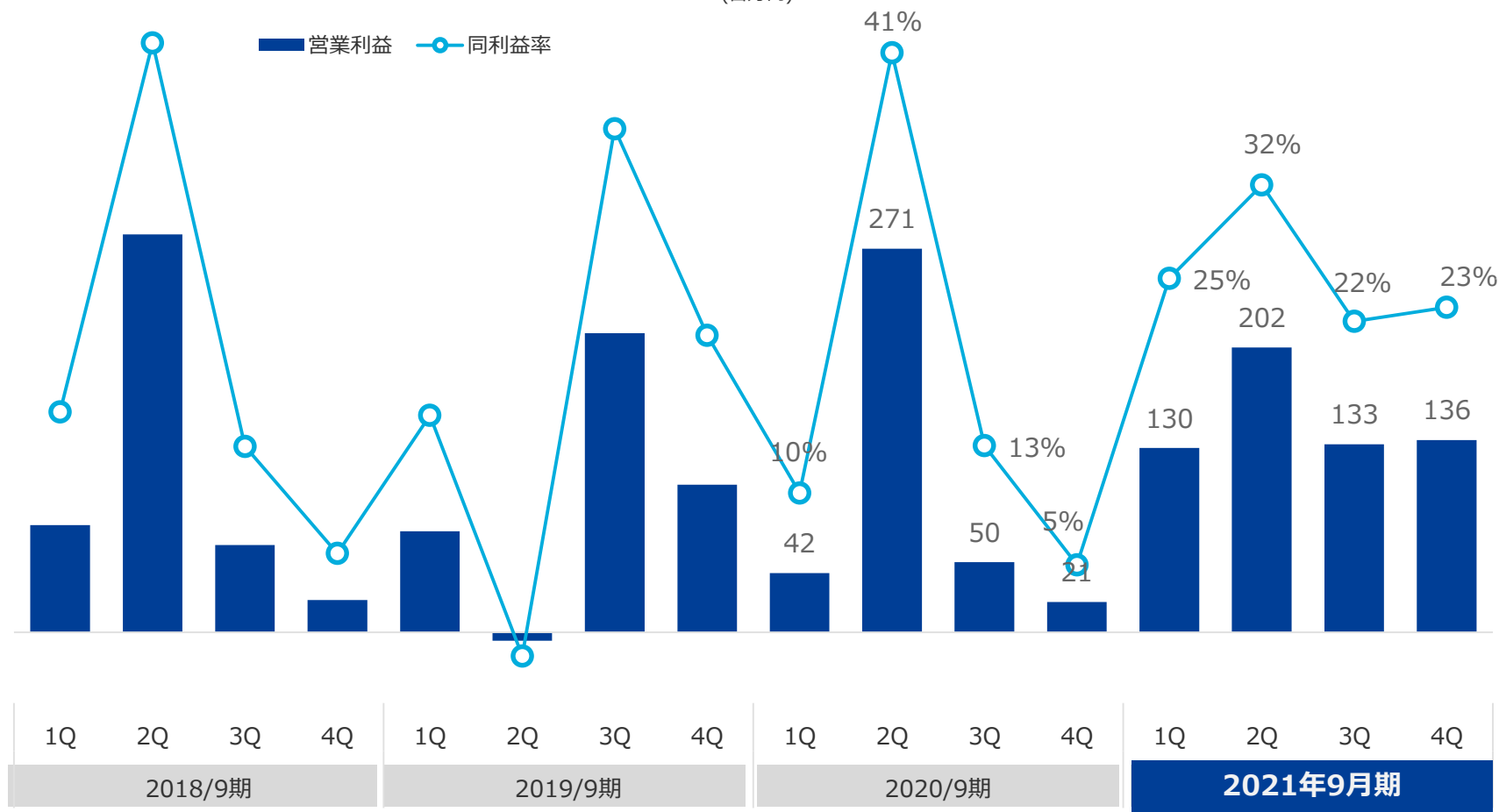


改定売上は、大規模診療報酬改定の端境期ということもあり、2020/9期に比べ減少
 しかし、2021/9期2Q以降は「オンライン資格確認等システム」によるオンライン売上が拡大

四半期営業利益及び同利益率の推移

四半期別営業利益の推移

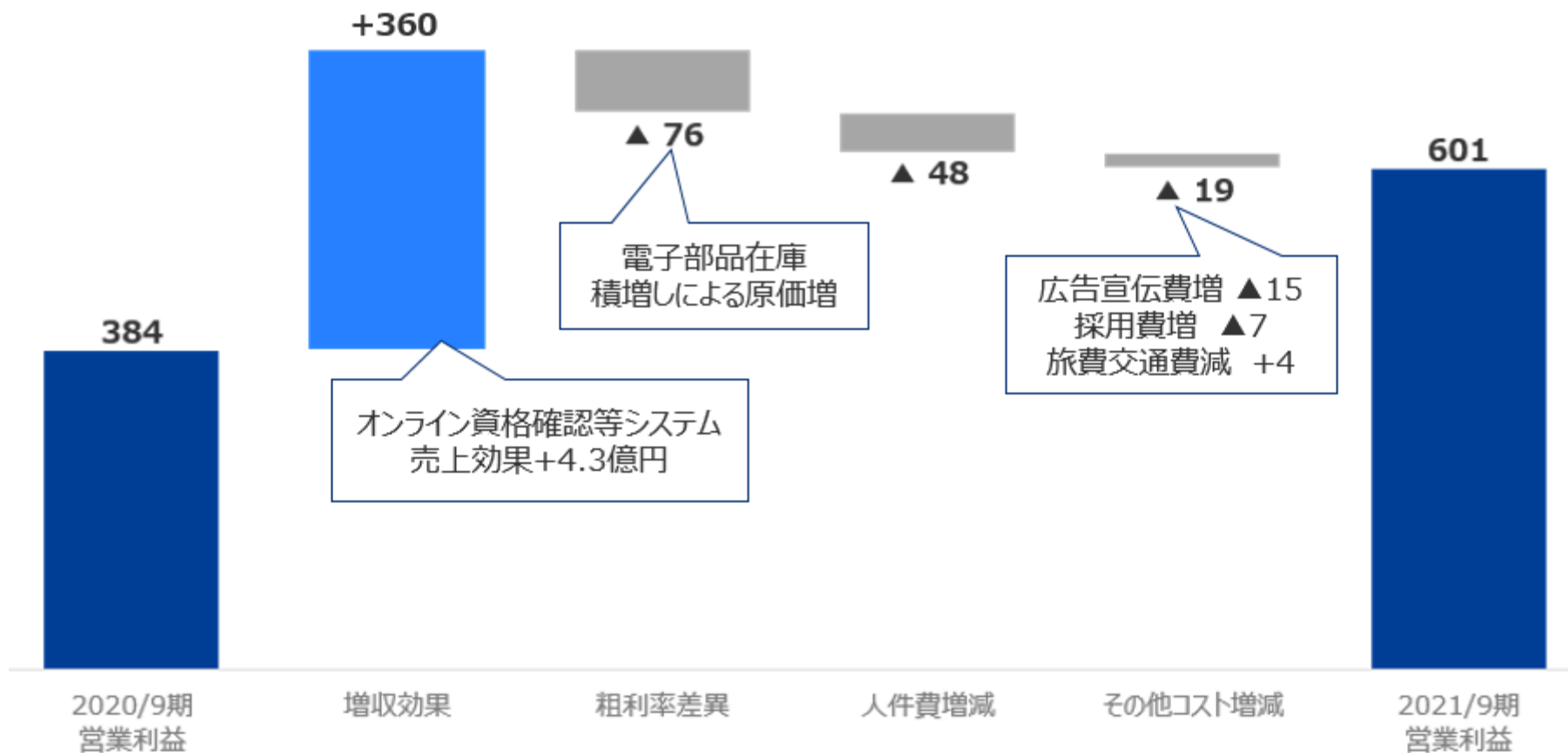
(百万円)



- 2021/9期の四半期営業利益は過去に比べ高水準で安定的に推移。
 - 同利益率も20%以上で引き続き堅調に推移

営業利益増減益要因分析

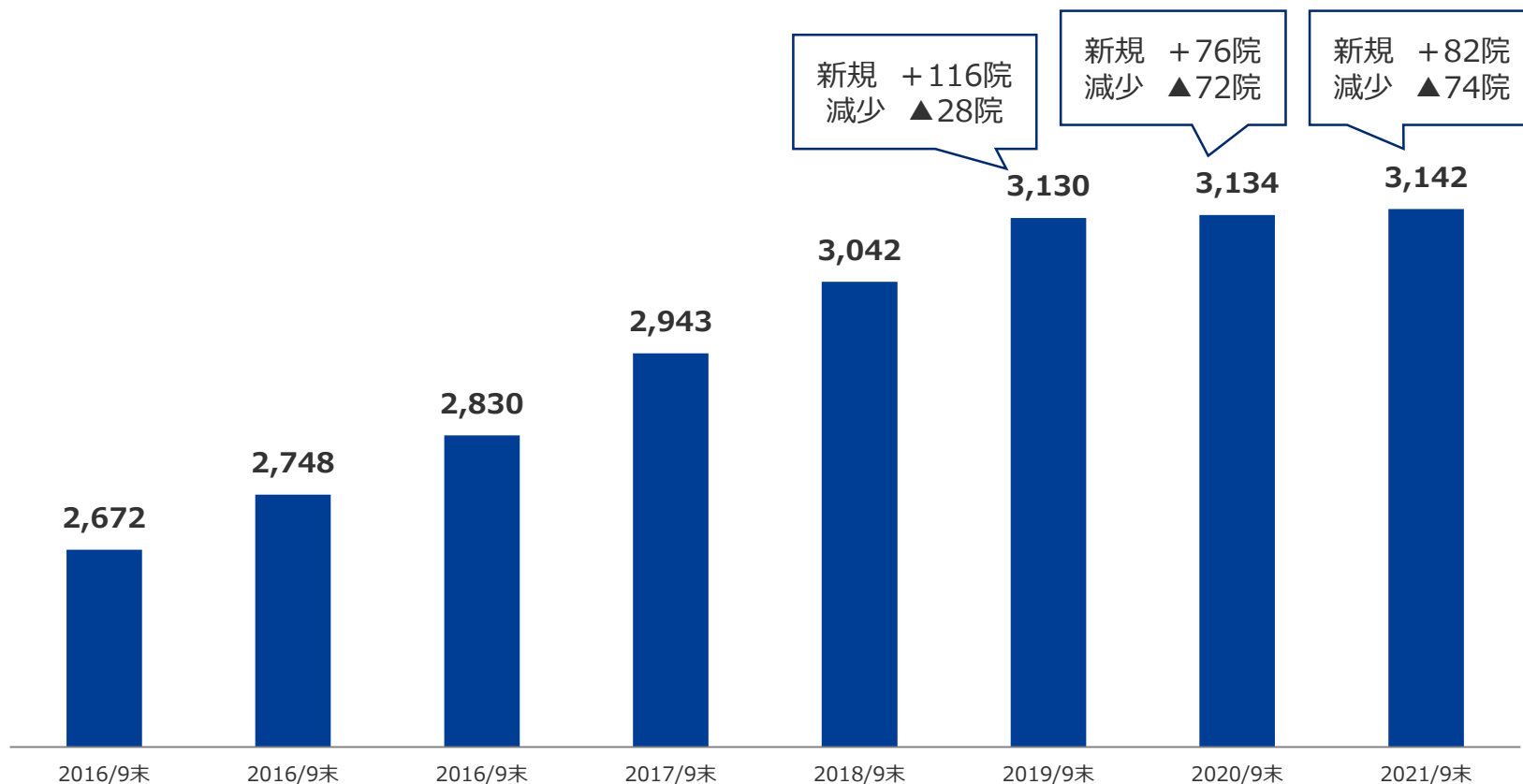
(百万円)



- 営業利益増要因の原動力は「オンライン資格確認等システム」販売による増収効果
- 在庫積増しによる原価増、人員増に伴う人件費や採用費の増加、販促に向けての広告宣伝費増などを吸収

顧客数の推移

(医院)



- 期末顧客数は3,142医院。新規顧客の積上げは着実に進むも、COVID-19を契機に閉・廃院も増加。トータルでは前年比微増
- 製品売切型のビジネスモデルであるため、顧客減少は潜在市場の圧迫要因ながら直接的な影響は軽微

貸借対照表

(百万円)	2019/9期	2020/9期	2021/9期	前期比増減額
流動資産	1,923	2,199	2,635	+435
現預金	1,680	2,041	2,159	+118
売上債権	163	69	285	+216
棚卸資産	51	58	163	+103
固定資産	876	884	1,382	+497
総資産	2,800	3,084	4,018	+933
負債	358	438	515	+76
買掛金	61	64	87	+22
未払金	175	171	222	+50
純資産	2,442	2,645	3,503	+857
負債純資産合計	2,800	3,084	4,018	+933

- 期末の自己資本比率は87%。上場に伴う株式発行により純資産は3割増に
- 在庫の増加は電子部品供給不足への対応。顧客対応への遅延がないよう戦略的に棚卸資産を厚めに確保
- 上場調達資金は大規模投資に備え、資金をプール

キャッシュフローの状況

キャッシュフロー計算書

(百万円)	2019/9期	2020/9期	2021/9期	前期比増減額
営業CF	282	430	247	▲ 182
税前純利益	386	398	539	+141
減価償却費	30	30	35	+5
たな卸資産増減	-	93	▲105	▲ 279
投資CF	297	▲27	▲574	▲ 547
固定資産取得	▲4	▲24	▲117	▲ 93
有価証券	-	-	▲452	▲ 452
FCF	579	402	▲328	▲ 730
財務CF	▲384	▲41	444	+485
株式発行収入	-	-	550	+550
配当金支払	▲41	▲41	▲68	▲ 27
現金、現金同等物の期末残高	1,370	1,731	1,849	+118

FCF=営業CF+投資CF で算出

▲ = キャッシュアウト

- 営業CFは、税前利益の増加はあったものの、電子部品供給不足対応による、たな卸資産増に伴い減少
- 現金の一部を有価証券へ投資するも株式発行収入により、現金、現金同等物の期末残高は微増

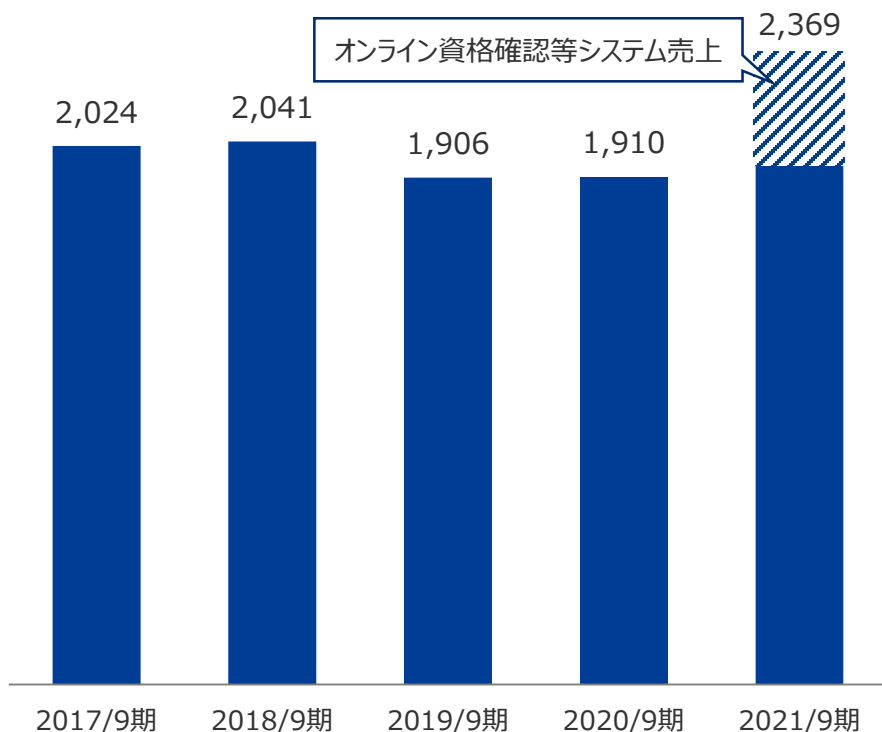
株主還元の状況

(円/株)	2020/9期	2021/9期		2022/9期	
		計画	前期比	予想	前期比
1株当たり当期純利益	124.75	173.64	+48.89	202.88	+29.24
1株当たり配当金	35.00	65.00 普通配50.00 記念配15.00	+30.00	78.00	+13.00
配当性向	28.1%	37.4%	+9.3pp	38.4%	+1.0pp

- 普通配50円/株、上場記念配15円/株を加え増配し、年間配当は65円/株を予定。配当性向37.4%
- 2022/9期は普通配当78円/株を予想。配当性向は38.4%

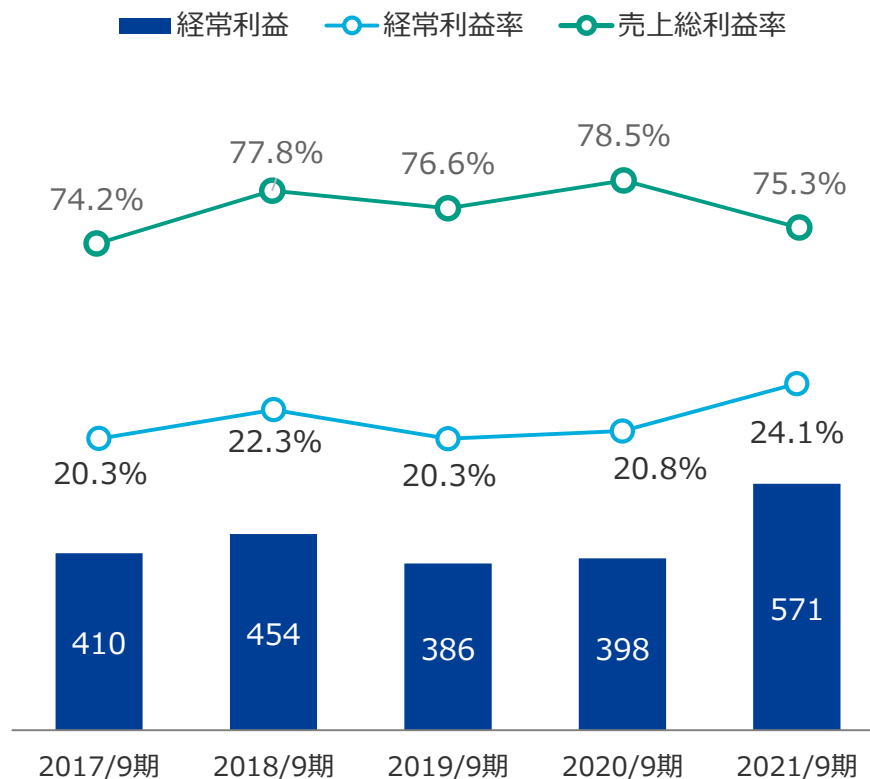
売上高の推移

(百万円)



経常利益、売上総利益率及び経常利益率の推移

(百万円)



直近4期の売上横ばい圏を脱し、売上高は過去最高更新。「オンライン資格確認等システム」販売が貢献
 経常利益も大幅増で過去最高を更新し、同利益率も向上



2022/9期決算見通し

業績予想

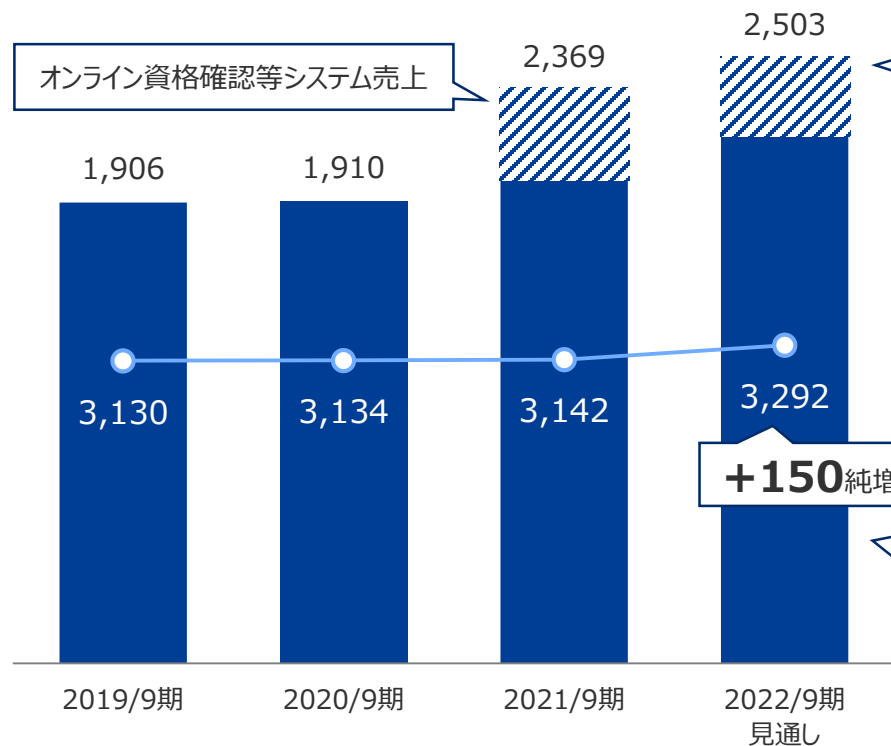
(百万円)	2020/9期	2021/9期	2022/9期 予想	前期比	
				増減額	増減率
売上高	1,910	2,369	2,503	+134	+5.7%
売上総利益	1,499	1,783	-	-	-
粗利率	78.8%	75.3%	-	-	-
営業利益	384	601	629	+22	+3.6%
営業利益率	20.1%	25.4%	25.1%	▲0.3pp	-
経常利益	398	571	642	+70	+12.4%
当期純利益	245	375	452	+76	+20.4%

- 前期比5%超の増収を想定。前期に大きく伸長した「オンライン資格確認等システム」は、デバイス供給不足などもあって一旦踊り場に。従来製品である主力の歯科電子カルテ統合システムの売上増に注力
- 営業利益は4%強増加の見通し。営業活動強化に伴う販売費用などの増加があるものの、前期に戦略的に積上げた在庫要因の減少により、営業利益率は引き続き高水準を維持
- 電子部品供給不足などによる機会損失には、既に在庫積増でリスク抑制は対応済

売上高の予想、顧客数の計画

(百万円、医院)

■ 売上高 ○ 顧客数



オンライン資格確認等システム

- ✓ 部品供給不足により、国から医院向けカードリーダーの無償提供の遅れ

売上高 10~15%減を想定

歯科電子カルテ統合システム

- ✓ コロナ禍一巡で歯科医院の廃業も一段落
- ✓ 新規キャンペーン、セミナーの積極的実施
- ✓ 機能拡張の新サービス本格化
- ✓ 営業人員11名増

顧客数	新規獲得	+200医院
	減少	▲50医院
	純増	+150 医院

売上高 15%増を想定

- 「オンライン資格確認等システム」販売は需要急増の反動により部品供給遅れから若干の減少を想定
- 一方、主力の歯科電子カルテ統合システムの売上は積極的な拡販推進により、増収を計画
- 顧客数前提は、前年比150医院純増の約3,300医院

最新の連携サービス

既存システム

稼働・開発中

歯科電子カルテ 統合システム

Hi Dental Spirit XR-10i

結合

Hi Dentalクラウド統合システム

ス マ ホ 予 約

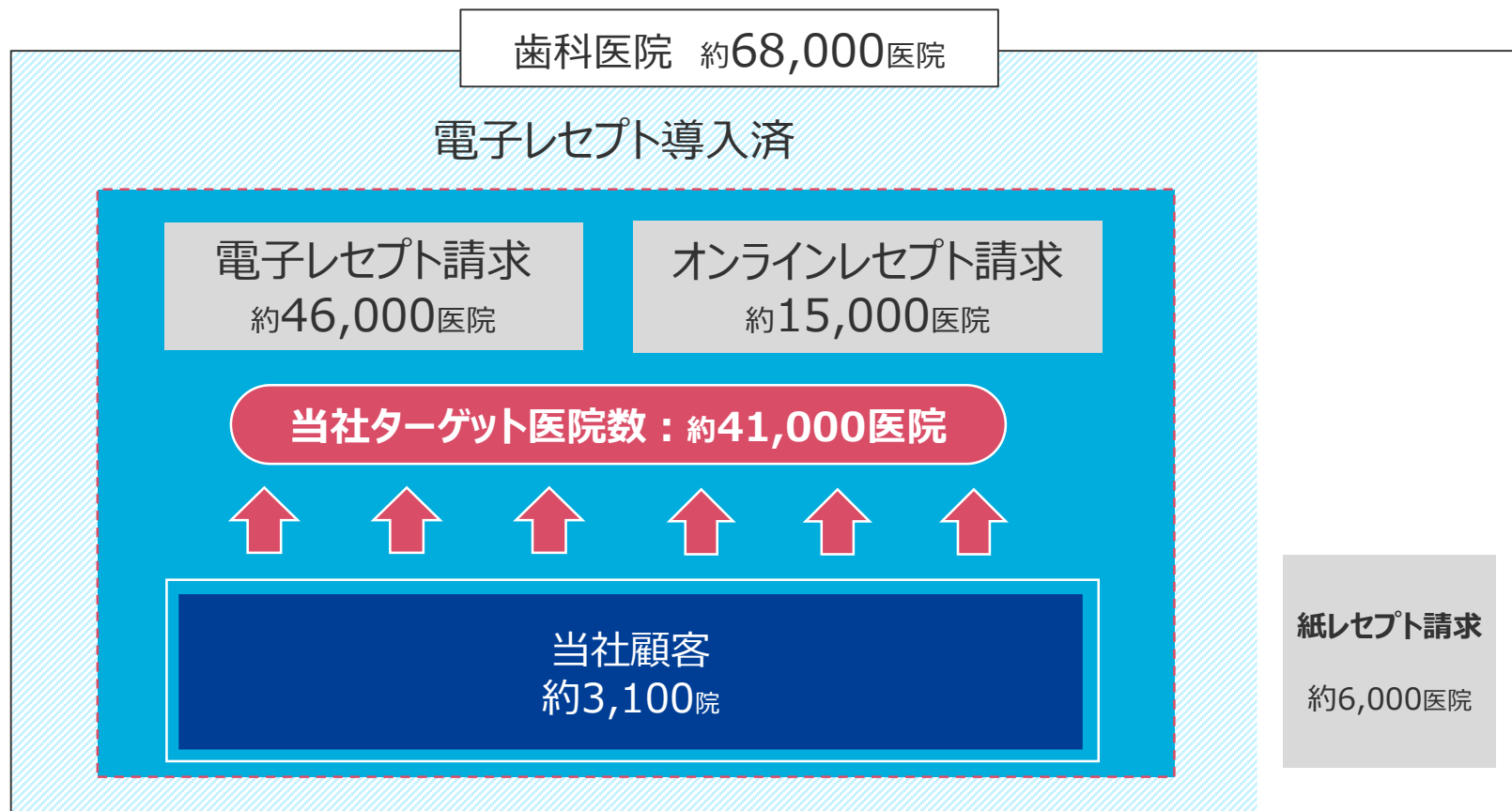
ス マ ホ 診 療 シ ス テ ム
(スマホ問診、スマホ診療、スマホ決済)

経 営 分 析 シ ス テ ム
(予約分析、診療分析、担当医別・医院別分析等)

ス マ ホ 診 察 券

S N S と の 連 携
(医院と患者のコミュニケーション)

- クラウドを活用した統合システムの更なる開発に注力
- 統合システムではSNS連携からスマホ診療・経営分析までを網羅
- 既存の歯科電子カルテ統合システムとの連携を図り、医院・患者双方の更なる利便性を向上



出典：JAHIS（一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会）2021年9月30日現在

- 当社のターゲット医院数は6割の41,000医院を想定
- カルテの完全電子化を目指す歯科医院であれば、当社サービス、製品の特長は十分な訴求力を有する

It's Hi Dental World

歯科医療に夢と未来を...

歯科電子カルテ統合システム
Hi Dental Spirit XR-10i

世界のセキュア DB **HiRDB** 生体認証指静脈

成長戦略①
スマホの活用推進

稼働中
スマホ診療

稼働中
スマホ診察券

稼働中
経営分析

新春稼働
スマホ問診

稼働中
スマホ予約

稼働中
SNS連携

成長戦略②
プログラム自動配信

バックアップ
リモート配信

予約確認
メール

成長戦略③
顧客基盤拡大



視診
歯周検査

問診

予約管理

オンライン
資格確認

着信
顧客情報

再診受付
自動精算機

治療提案
見積

画像管理

※当社製品は医療機器に該当します。医療機器の表示・取扱いには必ず説明書を確認してください。
※HiRDBは株式会社日立製作所の登録商標です。© 2015 Hitachi, Ltd. All rights reserved. HiRDBは日立製作所の登録商標です。© 2015 Hitachi, Ltd. All rights reserved.

経営分析



予約、来患、診療、担当医別・医院別・総合分析

スマホ
予約

スマホ
問診

スマホ
診療

スマホ
決済

スマホ
診察券

稼働中
スマホ予約

新着稼働
スマホ問診

稼働中
スマホ診療

新着稼働
スマホ決済

稼働中
スマホ診察券

稼働中
SNS
連携

Hi Dental Spirit XR-10i

- スマホ予約からスマホ診療、スマホ決済に至る一連の流れをスマホで完結できるよう順次対応を推進
- 経営分析システムを使い予約分析、診療分析、担当医別・医院別分析等をサポート

オンライン診療システム

～スマホで始まりスマホで完結～

スマホ予約

患者様がスマホで予約取得！



自動メッセージ送信

予約情報・リコール・リマインドをスマホで受信！



スマホ問診

診療前にスマホから問診入力！



患者様の予約管理をスムーズに！



スマホ決済

診療後の精算をスマホで決済！



スマホ診療

スマホビデオ通話で診療を可能に！
診療と同時に、チャット、メモ記録、カルテ入力が行え、
診療後はスマホで決済！



スマホ診察券

患者様がスマホをかざすだけで受付完了！



経営分析

予約・売上・診療分析で医院経営をサポート！

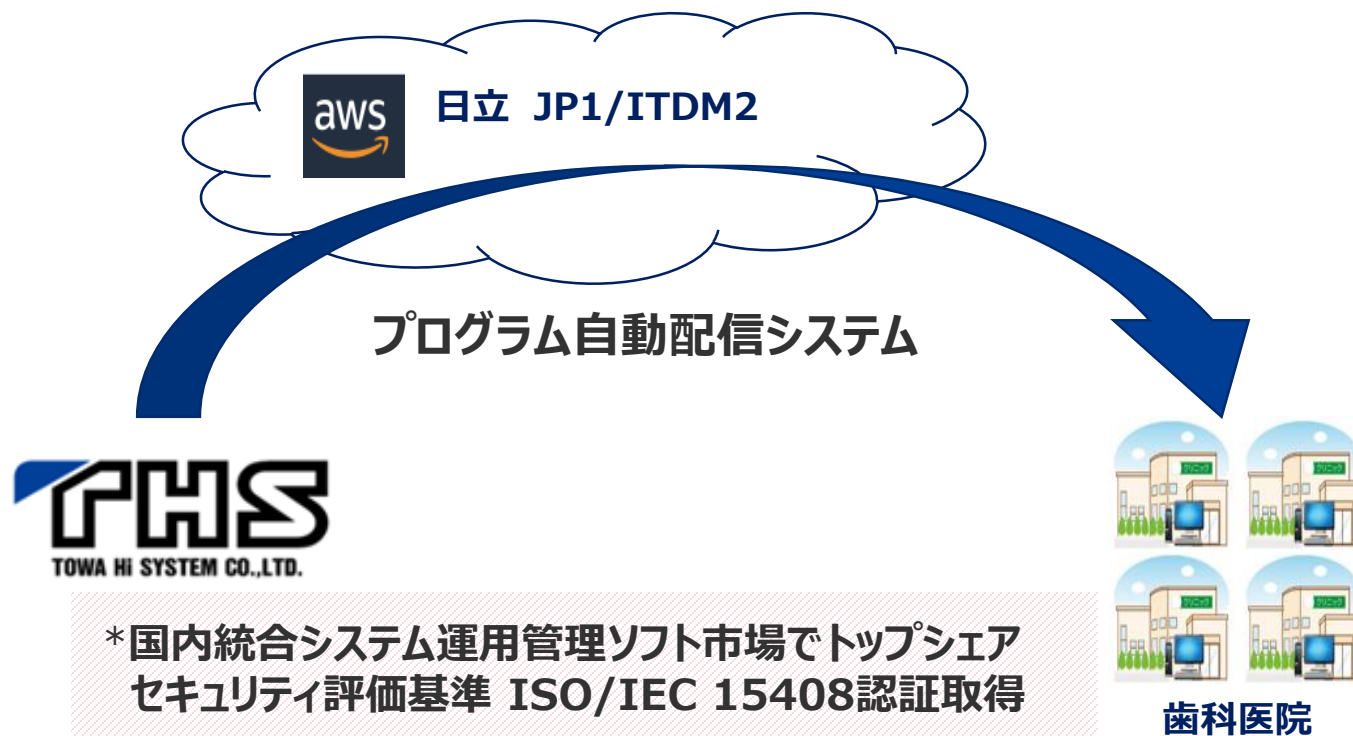
スマホ・タブレットで自宅から医院の経営状況が一目瞭



Hi Dental Spirit XR-10i

TOPICS② “JP1”を活用したプログラム自動配信

既存システム x プログラム自動配信



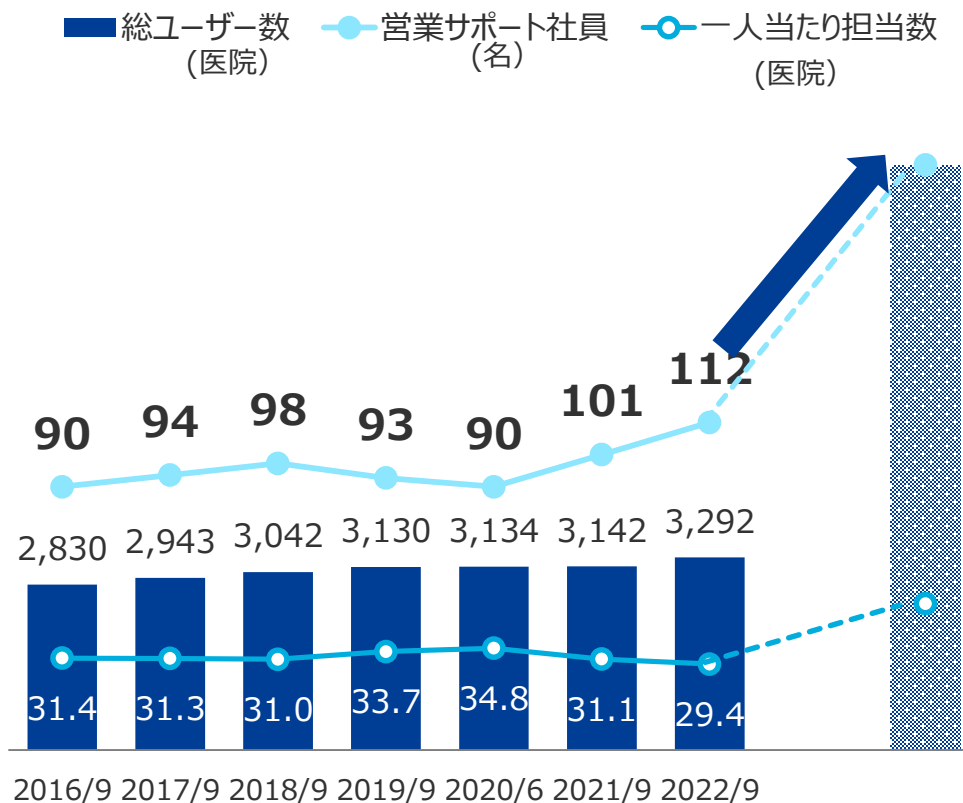
- 自動配信システムの導入により、歯科医院のソフトバージョンは常に最新(随時保険改定に対応)状態の維持が可能(2021年12月試験導入)
- 日立製作所の統合システム運用管理ソフト「JP1」*を利用し、個人情報保護のためにセキュリティ管理を強化
オンライン資格確認等システムとの連動を計画。業務効率化による労働生産性の向上

人財強化

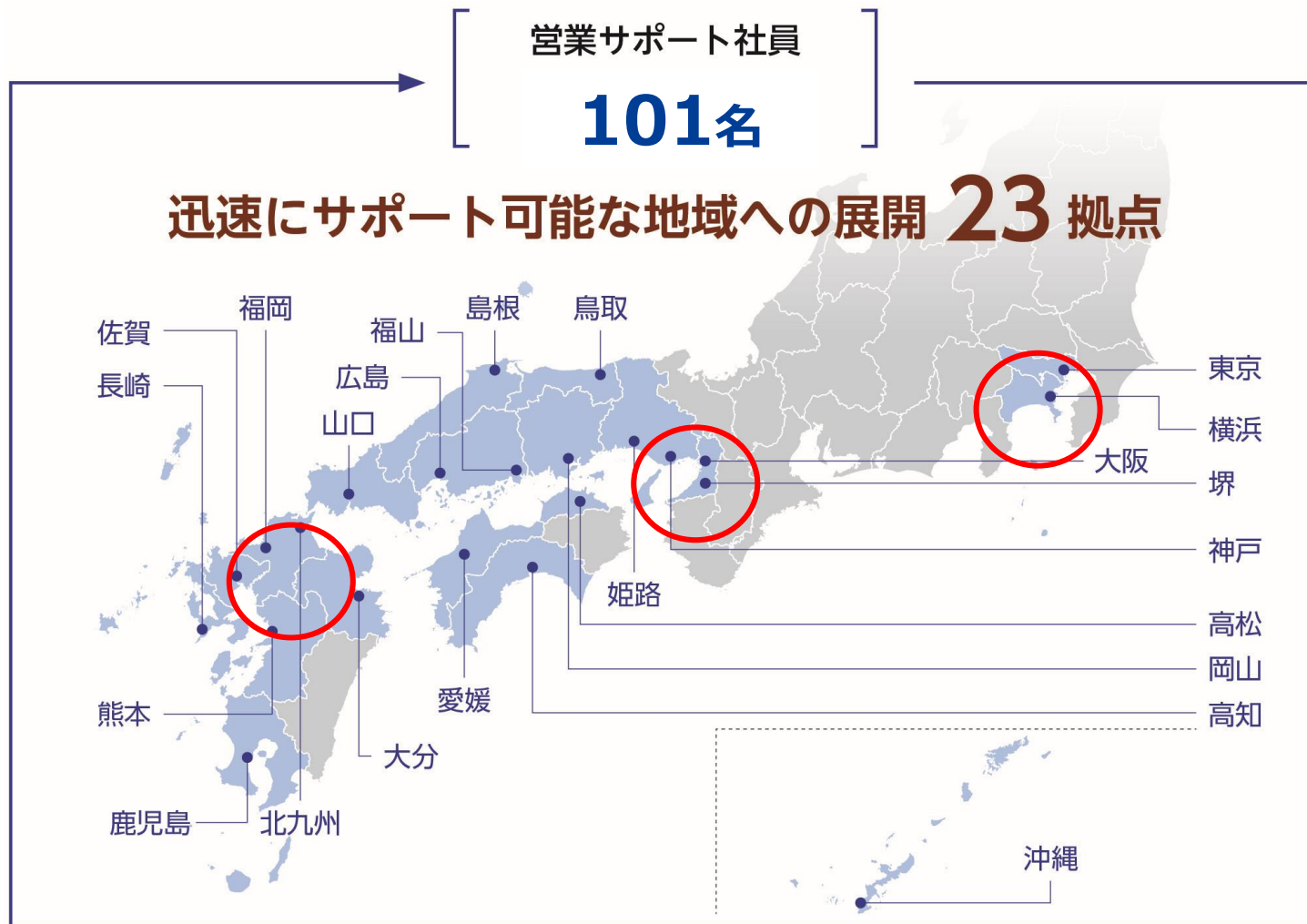
- ✓ 入社時（新人・中途）3か月研修
- ✓ 入社後2年間、毎月集合又はWeb研修
- ✓ 2年に1回実施される診療報酬大規模改定に向けた説明会の講師を育成
- ✓ DX化に向けた社員研修
- ✓ 継続的なコンプライアンス研修

最新のITスキルアップ研修と先生とお話するための歯科知識や歯科情報を習得(治療、保険、製品ソフト等)

人財増強

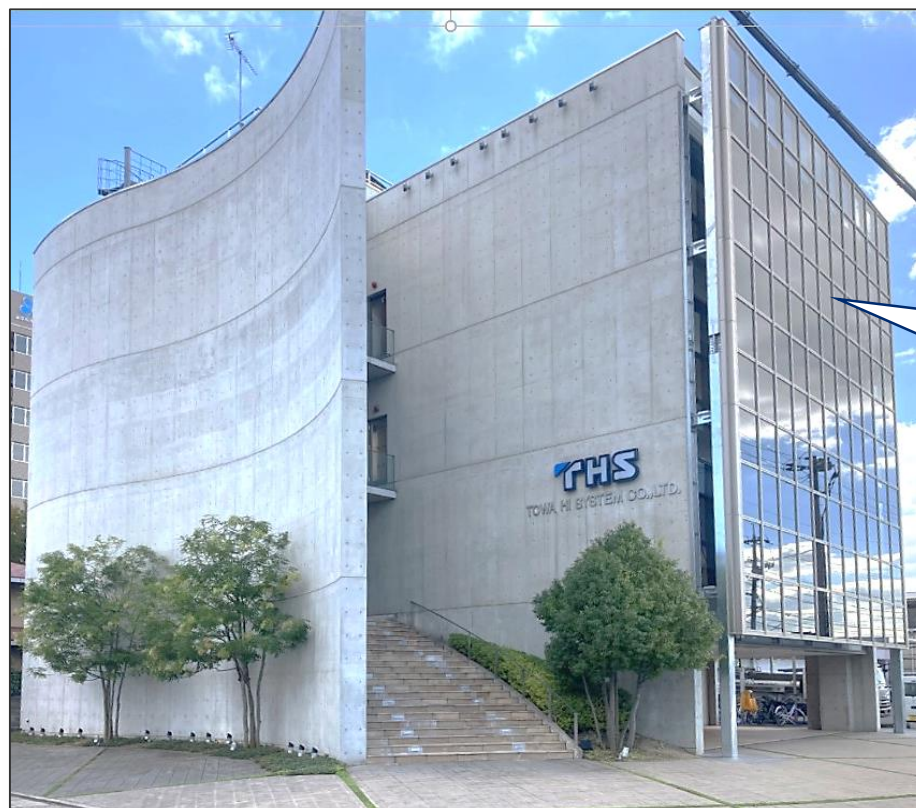


「顔の見える」サポートを原点に全国展開



- 全国23拠点に100名を超える営業部隊を配置。主に関西、中四国、九州といった西日本中心に展開
更に東京・横浜・大阪・福岡等の大都市圏にも注力
- 3,100件超の歯科医院に対し、歯科電子カルテ統合システムを販売し、迅速なサポートや診療報酬改定説明会の実施など、「顔の見える」対応で歯科業務全般にかかる知識・情報を手厚く提供

- ① 2009年12月：屋上に太陽光発電装置の設置（自家消費型）
- ② 2021年 8月：本社ビル西側ガラス面 ダブルスキン工法
シーソーラーガラスの太陽光発電（自家消費型）
- ③ 2025年予定：本社全車両のEV化（15台）
- ④ 2030年目途：営業所全営業車両のEV化（85台）



2021年8月
完成
西日遮熱軽減
にも効果を発揮



夢と未来を育む

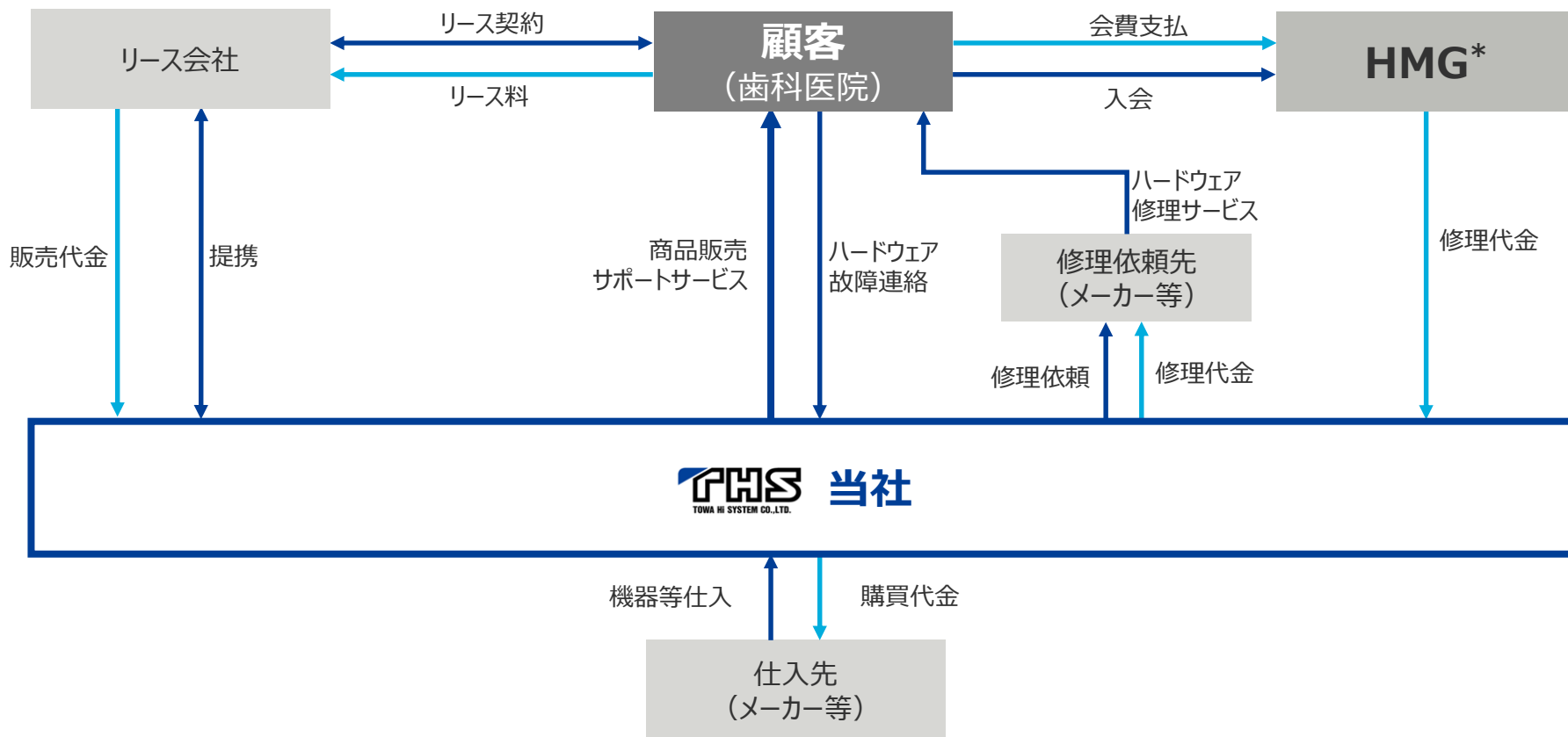
PHS 東和ハイシステム
TOWA HI SYSTEM CO.,LTD.





「**歯科電子カルテ統合システム**」に特化し、
研究開発からシステムサポートまで自社で一貫して提供する会社

歯科医院向けシステム事業 100%
全国約3,100件の歯科医院に電子カルテ統合システムを提供



電子カルテ1台毎の売上に立脚するフロービジネス

- システムを自社開発し販売する製販一体モデル。代理店は使わず、顧客に「顔の見える」営業を展開
- 販売はリース契約、アフターサービスは無料(=ソフトウェア三無主義)。ハード保守費用はHMG*が負担

* HMG (ハイデンタルハードメンテナンス互助会) : 当社顧客歯科医院による互助会組織

当社製品の差別化ポイント

	当社製品	競合製品
アプリケーションのポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電子カルテ機能、レセプト機能、インフォームドコンセント機能を融合しクラウド統合システムと結合して統合管理 ■ スマホ診療、スマホ予約、スマホ問診、スマホ診療、スマホ決済、スマホ診察券を網羅 ■ カルテ機能、レセプト機能については、「電子保存の3基準」に対応* ■ 150万超のステップにより、手書きカルテ相当の利便性確保 ■ 自社開発 	<ul style="list-style-type: none"> • レセコンサービスの一環 • カルテの一部を電子的に入力（カルテコン）する方式が多数 • カルテの手書き工程と併用 • レセコンメーカー開発
販売/ハード	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自社直販（リース） 	<ul style="list-style-type: none"> • 代理店販売（ハード自己調達）のケースが多い
サポート/カスタマイズ/保守更新費用	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自社で無償の三無主義・HMG対応 	<ul style="list-style-type: none"> • コールセンター活用/対価（課金）発生のケースが多い

* 「電子保存の3基準」：厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」の「真正性」「見読性」「保存性」基準

- 「電子カルテ機能」+「レセプト機能」+「インフォームドコンセント機能」を融合した統合システムにより完全ペーパーレス化の電子カルテ化を実現
- オンライン診療システム（スマホ予約・スマホ問診・スマホ診療・スマホ決済）とiPadを活用した歯科電子カルテ統合システムの結合
- ハイデンタルハードメンテナンス互助会（HMG）；ユーザーの先生方がコスト削減のため設立された任意の互助会組織
ハード修理保守費用と保険改定費用の補助が主な目的で、年2回の会報を発行し情報の共有を図る

決算年月		2017年9月	2018年9月	2019年9月	2020年9月	2021年9月	
売上高	千円	2,024,569	2,041,405	1,906,425	1,910,043	2,369,643	
経常利益	千円	410,568	454,896	386,356	398,181	571,210	
当期純利益	千円	330,102	303,311	237,420	245,498	375,566	
資本金	千円	68,000	68,000	68,000	68,000	343,080	
発行済株式総数	株	82,000	1,968,000	1,968,000	1,968,000	2,228,000	
(うち普通株式)	株	52,650	1,968,000	1,968,000	1,968,000	2,228,000	
(うちA種類株式)	株	29,350	-	-	-	-	
純資産額	千円	2,000,822	2,245,600	2,442,156	2,645,902	3,503,041	
総資産額	千円	2,492,173	3,004,123	2,800,234	3,084,602	4,018,165	
1株当たり純資産額	円	24,042.35	1,141.06	1,240.93	1,344.46	1,572.28	
1株当たり配当額	普通株式	円	500	500	500	35	65
	A種類株式	円	1,000	-	-	-	-
1株当たり当期純利益	円	2,964.54	178.24	120.64	124.75	173.64	
自己資本比率	%	80.3	74.8	87.2	85.8	87.2	
自己資本利益率	%	17.8	14.3	10.1	9.6	12.2	
配当性向	%	16.9	11.7	17.3	28.1	37.4	
営業キャッシュフロー	千円	-	290,400	282,152	430,091	247,995	
投資キャッシュフロー	千円	-	233,784	297,379	▲27,509	▲574,520	
財務キャッシュフロー	千円	-	83,601	▲384,064	▲41,000	444,716	
現金及び現金同等物の期末残高	千円	-	1,174,617	1,370,085	1,731,666	1,849,858	
従業員数	名	129	136	132	127	143	

(注) ・2018年2月16日開催の臨時株主総会決議により、種類株式を発行する旨の定款の定めを廃止。これにより同日付でA種類株式29,350株全ては、1対1の比率で普通株式に移管。
 ・2020年7月31日付で普通株式1株につき24株とする株式分割を実施し、発行済株式総数1,968,000株に。なお、2018/9期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び当期純利益を算定。

< ご留意事項 >

- 本資料は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements) を含みます。これらおよび戦略に関する記述等は、本資料作成時点における弊社の予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらと異なる結果を招き得る不確実性がありますことを、予めご了承ください。
- それらリスクや不確実性には、弊社の関係する業界ならびに市場の状況、国内および海外の一般的な経済動向および市場環境、その他の要因が含まれます。
- また、本資料に記載している情報に関して、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん等によって生じた障害等に関し、事由の如何を問わず一切責任を負うものではありません。
- 今後、新しい情報・将来の出来事があった場合でも、弊社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

問い合わせ先
 東和ハイシステム株式会社 IR担当
 086-342-3003 (代表)
ir-info@towa-hi-sys.co.jp